

福島第一原子力発電所現地確認報告書

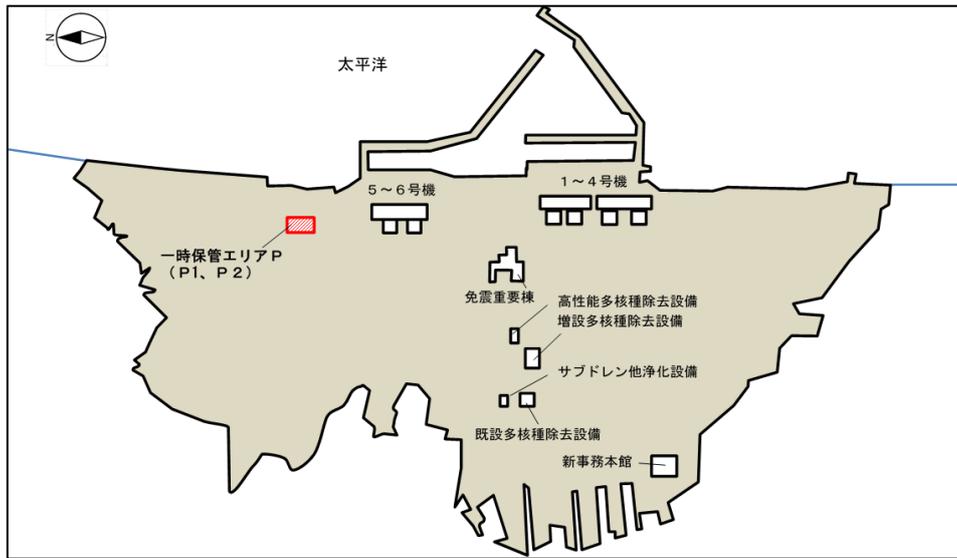
- 1 確認日
令和4年8月9日（火）
- 2 確認箇所
瓦礫類一時保管エリアP（P1、P2）
- 3 確認項目
瓦礫類一時保管エリアPの現況

4 確認結果の概要

昨年3月に瓦礫類一時保管エリア（以下「一時保管エリア」という。）W2に保管されていたコンテナから放射性物質が漏えいした事象が確認された。また、6月～8月には一時保管エリアX及びP2で保管されていた収納容器（コンテナ、ノッチタンク）からの放射性物質を含む溜まり水の漏えいが確認された。さらに、一時保管エリアW1でコンテナの一部の天板に穴があることが確認された。これらを踏まえ、東京電力では本年3月を目処に飛散抑制対策（容器収納、シート養生）が必要な瓦礫類を保管している収納容器を耐候性のシートで養生する他、収納容器からの漏えい水が側溝に流入しないようエリアと側溝の境界部等に土のうを設置するとしていたことから、先日、一時保管エリアPの現地確認を実施した。（前回確認日：令和4年6月30日）

その後、東京電力により一時保管エリアPの東側法面に排水を追設するとの情報を得たことから、その状況などを確認した。

- ・前回の現地確認時においては、放射性物質を含む溜まり水が漏えいした収納容器（ノッチタンク）は仮設シートで養生・保管されていたが、本日の現地確認時には、収納容器（ノッチタンク）は撤去されていた。（写真1）
- ・一時保管エリアPの東側に、単管パイプとネットによるフェンスが設置されていた。（写真2）
- ・東京電力によると、一時保管エリアP北側排水路改造工事において、エリアP1北側の集水枡はすでに閉じており、当該エリア東側法面に新たに排水路を設置するとのことであったが、現地において当該排水路が設置されていることを確認した。（写真3）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
ノッチタンクの設置状況
(令和4年6月30日撮影)



(写真1-2)
ノッチタンクが設置されていた箇所の状況
(令和4年8月9日南東側から撮影)



(写真1-3)
ノッチタンクが設置されていた箇所の状況
(令和4年8月9日東側から撮影)



(写真1-4)
ノッチタンクが設置されていた箇所の状況
(令和4年8月9日北側から撮影)



(写真2-1)
単管パイプとネットによるフェンスの設置状況①



(写真2-2)
単管パイプとネットによるフェンスの設置状況②



(写真3-1)
新たに設置された排水路の状況(一時保管エリアP東側法面から当該エリアに向かって撮影)



(写真3-2)

新たに設置された排水路の状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。